

学校地域コーディネーター との意見交換会報告書



令和3年12月10日（金）品川区議会棟

議会報告会等準備会議

【開催経緯】

品川区議会では、「区民に開かれた議会」「区民に身近な議会」を目指し議会改革を進めており、各種団体と意見交換会を行ってきた。今回は初めて学校地域コーディネーターの方々と意見交換会を開催した。

【開催概要】

日 時 : 令和3年12月10日(金) 10:00~11:30

会 場 : 品川区議会棟

参加者 : 学校地域コーディネーター8名

出席議員 : 本多健信、塚本よしひろ、渡辺裕一、松澤和昌、小芝新、このの孝子、
新妻さえ子、高橋伸明、鈴木博、中塚亮、石田ちひろ、安藤たい作、

くにば雄大、田中さやか、大倉たかひろ、高橋しんじ

テ ー マ : 「学校地域コーディネーターの現状と課題について」

【主なプログラム】

1. 開会あいさつ(議長 本多健信)
2. 当日のスケジュール説明(議会報告会等準備会議リーダー このの孝子)
3. 記念写真撮影
4. 意見交換

3つの班に分かれ学校地域コーディネーターと議員間で意見交換を行った。

5. 意見発表
各班の代表者1名による意見発表を行った。
6. 閉会あいさつ(副議長 塚本よしひろ)



記念写真



意見交換の様子

【意見交換で出た各班の意見・要望のまとめ】

1班

○要望について

- ・勤務体系を変えてほしい。
- ・部屋を広くしてほしい。
- ・管理職へもっと教育してほしい。
- ・活動助成をそれぞれの学校事情に合わせて調整してほしい。
- ・周知をもっとしてほしい。

○課題について

- ・継続性が課題。
- ・学校を起点とした地域づくり。
- ・予算が事細かく決まりすぎている。
- ・学校と地域の壁を低くすること。
- ・花壇の整備や知恵のサポートといった地域との連携。
- ・区と教員（現場）の温度差。
- ・コーディネーターの想いによって支えられていること。
- ・校区教育協働委員会で話すこと。
- ・管理職によって雰囲気異なること。



○その他

- ・コロナ禍で活動が制限されている。
- ・オリパラガイドを作成したらほぼ全クラスで事前授業をしてくれてうれしかった。
- ・年金で生活している人の生きがいづくり。
- ・地域のスーパースターという位置づけ。
- ・100周年という機会に、ICSを啓発したい。教職員と地域を学べるように関わる。

2班

○成果について

- ・旗の台小学校とボランティアで行っていた池の掃除がテレビに取り上げられた。
- ・浜川中学校は近隣小中学校と連携している。
- ・地域未来塾が子どもたちの居場所として定着してきた。
- ・子どもたちの自主学習の成果が出るように取組んでいる。
- ・保護者に医師がおり、第二次性徴について話をしてもらった。
- ・伊藤小では事務ボランティアをまず募集した。
- ・中学校区で、地域行事を入れたカレンダーを作成した。
- ・地域とのパイプ役として校区教育協働委員会の仕事も行っている。
- ・全国的に見ても品川区は予算が充実している。
- ・浜川中では、居場所として勉強する子どもの自主性に任せている。

- ・災害に備え、消防団に来てもらった。
- ・保護者と先生以外が話をすることに地域未来塾が役立っている。
- ・小学校の畑のボランティア。
- ・ゲストティーチャーの人選。

○課題について

- ・コーディネーターの人選について。
- ・伊藤小学校の次の事務ボランティアの人選が難しい。
- ・学校ごとに事情が異なる。
- ・ボランティアで行うアシスタントについて。
- ・各学校で求められているコーディネーターが違うため、専門職としての育成が必要ではないか。
- ・家以外の居場所について。(コロナ禍で児童センターが使用できなかった。)
- ・人材の引継ぎについて
- ・未来塾に来る子どもの想いと先生の想いが違う。(来てほしい人が来ない等)
- ・3日4時間でコーディネーターの仕事をするのが大変。
- ・伊藤小では、未来塾用の思うような予算がなかった。
- ・部活があることで健全育成が図られる「部活神話」という考えがある。
- ・部活、地域クラブの外部指導員を用意するためには予算が必要。
- ・ボランティアの確保について。
- ・新しく区民になった方にコミュニティスクールをどう伝えていくか。

○解決策について

- ・コーディネーター専門職の育成をする。
- ・無償ボランティアを有償にするための予算をつけたい。
- ・学校予算ではなく地域予算で対応する。
- ・未来塾の予算を確保することで、質の向上を図る。
- ・活動費など、自由に使える予算が欲しい。
- ・部活を外部に任せるには準備会が必要。
- ・事務費の確保について。
- ・カレンダー等を作成しPRをする。



3班

○業務について

- ・今必要とされているボランティアを発見する。
- ・現状は地域リソースを学校で消費しているが、地域未来塾に力を入れる。
- ・GLOBAL 授業の実施。
- ・授業に必要なボランティアの手配。
- ・PTA と協力し展示、運動会の設営。
- ・植物の水やりや図書ボランティア、地域未来塾の教師の人脈を使って探す。

- ・地域未来塾の運営。

○課題について

- ・どうしても校長の意向が強く反映されてしまう。
- ・すまいるスクールは話し合いに参加していて学ぶことが多い。
- ・情報共有が不足する場合がある。
- ・PTA とコミュニティスクールの位置づけ
- ・PTA が弱体化してきている。
- ・各地域によって実情が異なる。
- ・校区教育協働委員会の意義、位置づけについて。
- ・人員不足について。
- ・ボランティアの集め方について。
- ・兼業が多く、やめてしまう人がいる。



○要望について

- ・校区教育協働委員会が機能していないため、希望を聞く等をしてほしい。
- ・すまいるスクールの連絡協議会に参加し有意義だった。すまいるスクールのスタッフの子どもに関する情報は貴重。
- ・PTA と何を協力できるか。コミュニティスクールの限界を補うのがPTA との関係ではないか。
- ・コーディネーターの時間外の仕事が多いため、勤務時間を増やしてほしい。

【学校地域コーディネーター参加者のアンケート結果】

1. 開催スタイル、意見交換の時間について

- ・時間が許すなら、少し時間を長くしてコーディネーターの人数を増やせると、各校の取組みの違いをもっと伝えることができるかもしれない。
- ・時間が足りなかった。
- ・短い時間ではあったが、中身の濃い話をするのができたと思う。
- ・課題が見える化できてよかった。時間についても、少し物足りなく感じるくらいがよいと思うため、ちょうどよかった。話し足りないとは感じなかった。
- ・意見交換のグループディスカッションはよかった。時間は45分×2くらいあってもいいと思った。話が中途半端になり、話しきれなかった。
- ・多岐にわたる内容が多く、時間が足りないとも思った。テーマを細分化できるといいように思った。

2. 今後の開催について

- ・忙しいとは思いますが、年に1度ほど話をする機会があるといいと思う。
- ・意見交換会で出た問題が、改善につながるのであれば、定期的開催してもいいと思う。
- ・各学校それぞれ違うため、他のコーディネーターにも意見がある方がいるため続けてほ

しい。

- テーマを決めて定期的に行ってほしい。会派を混ぜてもらった方がいい。
- 定期的にテーマを決めて開催できるといいと思う。特にコミュニティスクールの未来について議員の方とビジョンを共有できると意義があると感じた。
- 毎年定期的に開催されるといいと思う。

3. その他

- 意見交換のグループディスカッションの後に少し時間が取られていると、座席が物理的に遠かったり、直接様子を伺いたい等の話しができたと思う。
- 学校地域コーディネーターに興味を持っていただきうれしく思う。今回参加した議員の方以外の方とも意見交換をできたらと思う。
- 課題、要望から話に入ってしまったため、いい部分と考えているところを伝え忘れてしまった。学校地域コーディネーターは会計年度任用職員として任用されているため、身分が保証されていて助かっている。また、このおかげで職員室に席があり、教員との距離が近いという点では、短期間でコミュニティスクールを進めるうえで大変意義があったと思う。この点は、他自治体にないことで評価をしてほしい。また、統括コーディネーターが指導課にいるため、各校の状況に目を配ることができ、他自治体のようにどこかが突出していてどこかは全くダメというのではなく、凹凸はあるものの全区的に進められているところも評価していただきたい。
- 活動している様子などを見ていただきたい。地域によってカラーが違うことを実感していただきたい。区の施策として行っていると思うが、もう少し区の職員を含む区民にアピールできればいいのと思う。議員のみなさんに、学校地域コーディネーターを活用してどのような品川区になればいいのかをお聞かせいただきたい。
- 時間をとることが難しいとは思いますが、雑談の時間を設けられると、そこから生まれるものもあると思うのでいいと思う。

【議員参加者のアンケート結果】

1. 意見交換会について

○テーマについて

- 要望、課題、その他に取り決め有意義な意見交換ができたと思う。

○人数について

- 議員側が多かったため、学校地域コーディネーターと同数に近い方が話しやすくいいと思う。
- もう少し議員側の人数を絞ってもいいと思った。

○場所について

- コロナの状況にもよるが、意見交換のグループディスカッションは別の部屋ではなく、同じ部屋の方がいいと思った。

○時間について

- 意見交換の時間が少し足りなく感じた。もう少し長く時間を取ればしっかりディスカッションできたと思う。
- 意見交換の時間は60分欲しいと思った。
- やっていることへの熱意や思いが強ければ、それだけ伝えたいことも多いと思うし、議員側も聞きたいことが出てくるため、もう少し時間があつたほうが良いと思った。

○形式について

- 現状のお話をいただく中で、課題を出されたりしていた。その課題を踏まえて議員がそれぞれ質問していくという流れで、深く掘り下げることができたと思う。
- 意見交換会は有意義であるため、今後も継続して行い、要望等が反映されるように取り組んでいきたいし、何が反映されたかを必ず返信する流れが定着するとういと思う。
- 理想は同じ部屋で、3～4グループの意見交換を実施できると一体感があつていいと思う。そして、各グループの発表は議場で行うとういと思う。
- 進行についてどのように進めるかを、同グループの議員と相談できるともっとよかつたと思う。

○その他

- 子ども議会の開催なども検討したい。
- 区内で活動されている方や、品川区政に強いかわりがある方等、多様な方々との意見交換を行い、多くの意見を伺いたい。
- 議長席に座つての写真撮影や傍聴席の見学等、学校地域コーディネーターの方に議場を見学していただく時間がもう少しあつたほうが、今後の議会見学等の授業の参考に繋がつていいと思った。

2. 議場での発表について

○発表形式について

- 今回の発表は、事前に案内していただき、そのつもりで発表していただいたのでよかつたと思うが、発表される方の負担にならないような配慮が必要だと思う。
- 議場を利用していただくことに意義があると思う。発表の際に、登壇してお話いただくのもとてもいいと思う。

○時間について

- 適切な時間だつたと思う。
- もう少し、時間を確保したほうが良いと思う。
- 課題と要望を全体で共有するという目的意識で、それぞれのグループにより多く時間を使つていただいてもよかつたと思う。
- 発表の持ち時間が各グループにちゃんと伝わつておらず、オーバーしていたが、全体の時間としてはいい時間に終われたと思う。全体の時間はもう少しあつたほうが良いとも思うが、「もっと話したかつた」と思うくらいで終わるのも、ちょうどいいのかもしれない。

ないとも思う。

3. 全体を通して

- 意見交換を通じて沢山の気づきがあった。その気づきを踏まえ、具体的に議会としてどのような活動を行っていくのか、行政への提案も含めて煮詰めていければと思う。
- 意見交換でいただいたお声が、その場だけの聞きっぱなしにならないよう、後日何らかの報告等をしたほうがいいのかと思った。
- 対象者選定が大きな意味を持ち、もっと対象を拡充するべきと思った。
- もう少しテーマを絞って行ったほうがいいのかと思った。
- 区民が議場に来て、議場で発言できる機会はなかなかないため、議場を活用しての開催はとてもいいと思った。
- より良い意見交換にするため、着地点をどうするかを運営側で話し合われていたほうがよかった。
- 意見交換会は区民の方と触れ合える貴重な体験のため、PTA や商店街の方等、もっと幅を増やして開催してもいいかと思う。
- 区に関わる様々な団体等と意見交換をすることはとてもいいと思う。その意見を行政にどう伝えたか、その結果どうなったか等をしっかり報告することも大切だと思う。
- YouTube をホームページに埋め込む等、当日の記録を残す体制を作れるといいと思う。